

ウランを運んだ先住民と

被爆者との出会い



寡婦たちの村

上映会&トーク



ピーター・ブロー監督
を迎えて

Photo by Robert Del Tredici

1999年にカナダで初上映された『寡婦たちの村』は、先住民族サーツ・デネとカナダ北西準州のウラン鉱山の歴史に光を当てたドキュメンタリー映画です。今回は、ピーター・ブロー監督を迎えて、作品の背景や現在の状況などについてお話をさせていただきます。

広島と長崎の原爆製造に使用されたウラン鉱石は、カナダ北西部で採掘され、その後、放射線の危険性について全く知らされていない先住民労働者サーツ・デネ人たちによって運搬されました。長年にわたり、このコミュニティは癌で多くの男性を失い、「寡婦の村」として知られるようになりました。1999年、映画監督ピーター・ブローは、原爆に使用されたウラン鉱石の採掘と運搬によって、サーツ・デネの人々がどのような影響を受けたのかを調査した約1時間のドキュメンタリー『寡婦たちの村』を制作しました。

2023年12月13日(水)

15:10~16:10 上映/16:10~17:10 監督によるトーク(&質疑応答)

会場: 大阪大学豊中キャンパス サイバーメディアセンター4階 PLS+C 教室

【問い合わせ先】大阪大学人文学研究科言語文化学専攻 小杉 世 (Sei KOSUGI)

kosugi.sei.hmt@osaka-u.ac.jp

【共催】JSPS 科研費基盤研究(B) 環太平洋圏における核と原爆をめぐる想像力と植民地主義の研究 (代表: 松永京子)

高度副プログラム(阪大 SDGs)「世界の言語文化とグローバリゼーション」 グローバリゼーション論 B (担当教員: 小杉)

Cultural Formation Studies 研究会

お申込みフォーム↓(期限:12/6)

<https://forms.gle/oJBCARzFZdKqTfye7>

QRコードからもお申込み
いただけます。→

定員: 先着 40名



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY